

事業名		【継続】 土木建築人材育成事業				
当初予算額		財源内訳 (単位：千円)				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源
30万0						30万0
事業期間		平成27年度～			総事業費	
【事業目的】 定住対策として、土木建築関係の資格取得者に対し受験料の支援を行い、人材育成及び人口流出の抑制を図ります。 【事業概要】 《事業期間》 平成27年度～ ●資格取得支援 《対象》 市内在住者で下記に示す資格を取得した者で、かつ市税を滞納していない者 ・ 建築士 ・ 土木施工管理技士 ・ 管工事施工管理技士 ・ 造園施工管理技士 ・ 建設機械施工技士 ・ 建築施工管理技士 ・ 電気工事施工管理技士 ・ 電気通信工事施工管理技士 ➡ 資格合格者に対して 受験料全額補助 ※建設業法施行令の一部改正により、平成31年度から電気通信工事施工管理技士を追加します。						
科目	8款	1項	1目	目名称	土木総務費	道路課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業概要と同じ			上記事業概要と同じ (受験料平均15,000円×20人)		引き続き実施予定

事業名		【継続】 社会資本整備総合交付金事業（無電柱化）				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源	
1,100万0		550万0		520万0	30万0	
事業期間		平成30年度～平成36年度（複数年度事業）		総事業費	6億0万0	
【事業目的】 島原城周辺の歩道を整備し交通事故の防止、美しい街並みを形成します。 併せて、島原市の玄関口である島原駅と主要観光地である島原城とを結ぶ重要な路線の無電柱化を実施し、都市災害の防止、都市景観の向上を図ります。						
【事業概要】 東城内線ほか電線共同溝測量設計業務委託 1式						
科目	8 款	2 項	2 目	目 名 称	道路維持費	道路課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	歩道測量設計			電線共同溝測量設計		歩道工事 無電柱化工事

事業名	【継続】				
	船津地区高潮対策事業費				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,850万0			2,700万0		150万0
事業期間	平成26年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	6億0万0

【事業目的】

平成24年9月に発生した台風16号により、高潮で甚大な浸水被害を受けた船津地区の高潮対策事業として、県施工の堤防により閉め切られる内側の水を堤防の外側へ排水するための排水ポンプ場及び地区の緊急避難道路の役割をもつ有馬船津5号線を整備します。

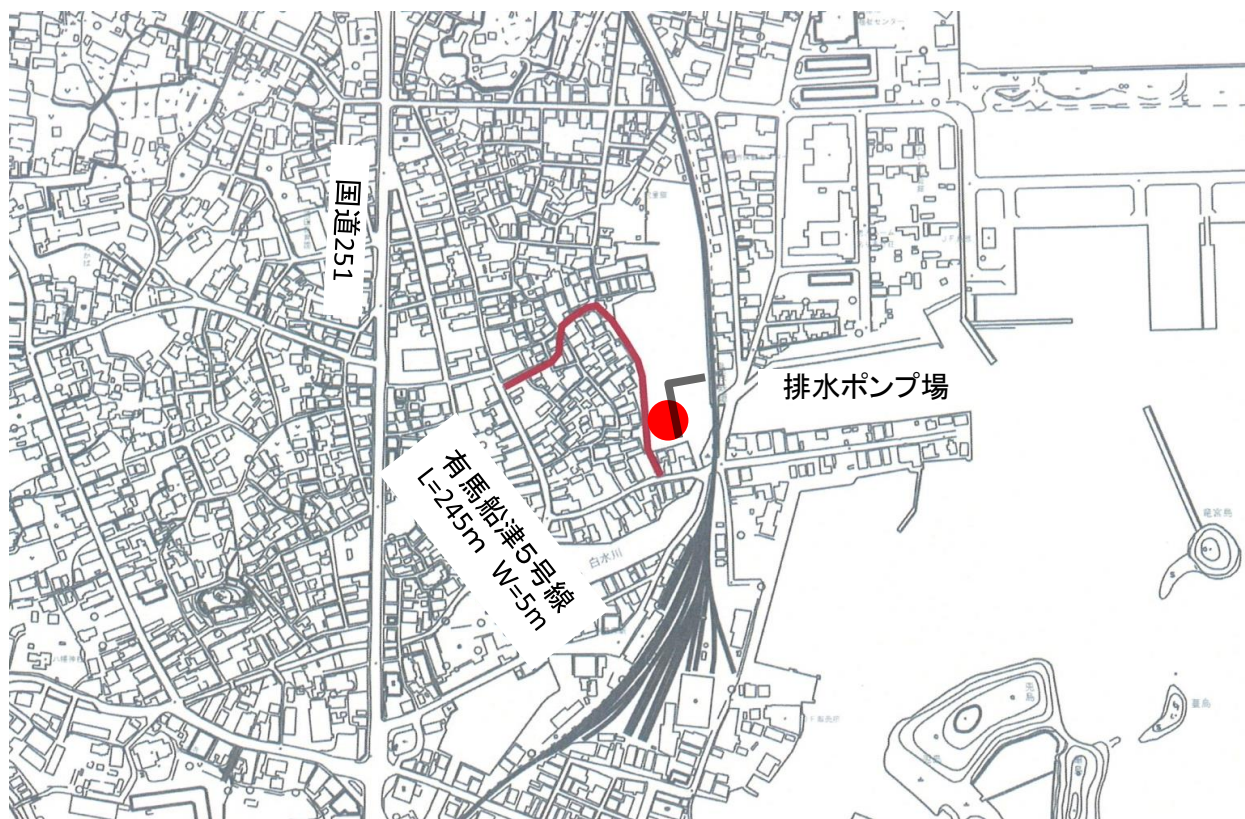
【事業概要】

排水ポンプ場整備 1箇所

(排水ポンプ口径φ400×2台 排水能力18m³/分×2台)

有馬船津5号線改良 延長L=245m 幅員W=5m

平成31年度 排水ポンプピット工事 1式



科目	8 款	2 項	3 目	目 名 称	道路新設改良費 (単独)	道路課
事業計画	前 年 度 まで			今 年 度		来 年 度 以 降
	埋立申請書作成業務 建物等事前調査 用地補償 有馬船津5号線改良工事			排水ポンプピット工事		有馬船津5号線改良工事 排水ポンプ場整備工事

事業名	【継続】 道路橋長寿命化（社会資本整備総合交付金事業）				
	財 源 内 訳（単位：千円）				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,788万3	3,712万5		1,500万0		1,575万8
事業期間	平成26年度～平成35年度（複数年度事業）			総事業費	3億1,970万0

【事業目的】

- ・平成22年度に橋長15m以上の33橋及び25・26年度に15m未満の232橋の橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、対策が必要な橋梁の長寿命化工事を実施しています。
- ・平成26年6月に国土交通省が「橋梁定期点検要領」を定め、5年に1回定期点検を行うようになったため、点検を計画的に進めます。

【事業概要】

- ・市が管理する268橋を平成26年度から5年に1回の頻度で定期点検を実施し、劣化度の高い橋梁から調査設計、補修工事を行い、橋梁の長寿命化を図ります。
- ・定期点検の結果に基づき橋梁長寿命化計画の見直し、更新を行います。

【効果】

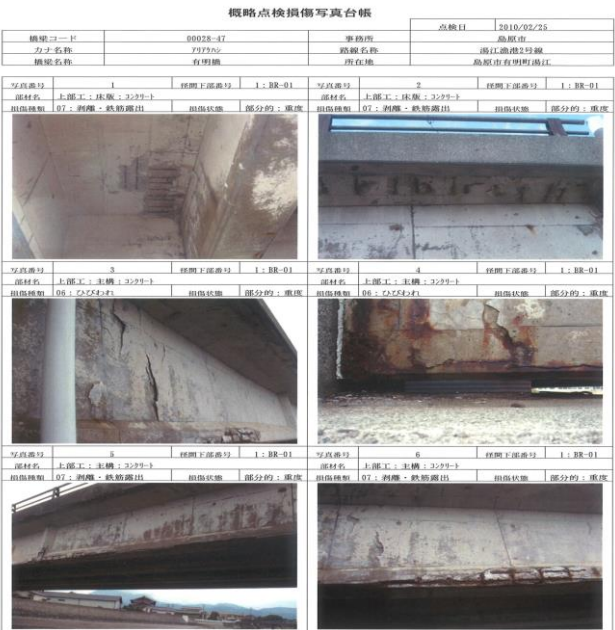
- ・橋梁の劣化による突発的な落橋を防ぐとともに、長期的に渡る通行止めの回避を図り、第三者被害の防止を目指します。

○長寿命化修繕計画（計画見直し）
268 橋

○橋梁点検 54 橋

○調査設計 11 橋

○補修工事 1 橋



科 目	8 款	2 項	4 目	目 名 称	橋 り ょ う 整 備 事 業 費	道 路 課	
事 業 計 画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降	
	点 検	268橋		計 画 見 直 し	268橋	点 検 (第 2 回)	214橋
	調 査 設 計	9橋		点 検	54橋	調 査 設 計	6橋
	補 修 工 事	7橋		調 査 設 計	11橋	補 修 工 事	17橋
				補 修 工 事	1橋		

事業名	【継続】 広馬場下公有水面埋立事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1億3,991万1			1億2,530万0		1,461万1
事業期間	平成27年度～平成36年度 (複数年度事業)			総事業費	2億7,200万0

【事業目的】

船津地区は、7月から10月にかけて大潮時には、護岸を越える潮位により、鉄道や道路が冠水し、家屋が浸水するなどの被害が発生しています。特に、平成24年9月17日の台風16号に伴う高潮により、床上浸水74戸、床下浸水182戸の記録的な被害が発生しました。

高潮が広馬場下の船溜りに入り込まないように公有水面を埋め立てることにより、高潮に伴う浸水被害を防止し、災害から地域住民の人命と財産を守り、市民が安全で安心して暮らせる快適なまちをつくれます。

【事業概要】

- ・島原市広馬場町390番から津町588番3を経て湊新地町396番に至る間の地先公有水面の埋立。
- ・埋立面積は、約4,500㎡、埋立高さ約5m、埋立土砂約25,000㎡
- ・平成27年度……測量調査、用地測量
- ・平成28年度……地質調査(ボーリング8箇所)、埋立基本設計、利活用基本計画
- ・平成29年度……公有水面埋立免許申請、建物等事前調査、埋立詳細設計
- ・平成30年度……締切護岸工事
- ・平成31年度……埋立造成工事、排水施設工事
- ・平成32年度……埋立造成工事、排水施設工事、公有水面埋立竣工認可
- ・平成32年度～ 利活用施設実施設計、利活用施設整備工事

被災状況



科目	8 款	3 項	1 目	目名称	河川整備事業費	都市整備課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	測量調査	地質調査		本工事		本工事
	詳細設計	建物事前調査		埋立造成工	A=4000㎡	埋立造成工 A=500㎡
	公有水面埋立免許			矢板工	L=57m	排水施設工 L=160m
	本工事			排水施設工	L=150m	公有水面埋立竣工認可
	締切護岸工	L=8.0m				利活用施設整備

事業名	【継続】 白土湖管理経費				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
532万6					532万6
事業期間	平成31年度～平成40年度 (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

近年、白土湖の水草が湖面全体を覆い尽くすようになり、観光スポットでもある白土湖をきれいな美しい状態で維持しながら観光客等に見ていただくため、常時稼働できるように小型の水草刈取船を借上げて経費の削減に努めます。

【事業概要】

- ・水草刈取面積 9,800 m²、年間 6 回、水草除去 約 1,200 m³

【事業費内訳】

- 11節 需用費 62万5千円 (燃料費、光熱水費)
- 12節 役務費 35万1千円 (輸送費等)
- 13節 委託料 270万円 (水草の処理費等)
- 14節 使用料及び賃借料 165万円 (水草刈取船の賃借料)



水草刈取りの状況

科目	8 款	5 項	2 目	目名称	公園費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	H30. 12月までの実績 水草除去 V=980m ³			水草刈取船を借上げた白土湖の管理		水草刈取船を借上げた白土湖の管理

事業名	【継続】 霊南山ノ神線整備事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1億1,816万9	4,716万0		7,040万0		60万9
事業期間	平成19年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	17億9,000万0

【事業目的】

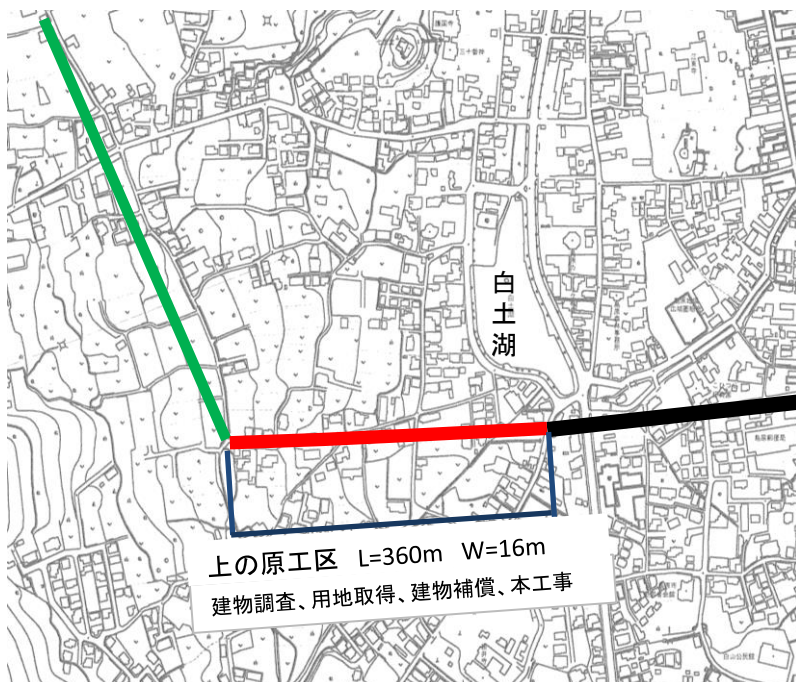
国道251号蛭子町一丁目から島原郵便局、白土湖、上の原二丁目を経由し、島原総合運動公園を結ぶ都市計画道路です。

市街地中心部の交通混雑の解消を目的とするとともに、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の利便性の向上を図り、地域の活性化につなげます。

【事業概要】

海手側の市道上の町広馬場線（島原郵便局付近）から市道中堀町新山線までの約280m区間は、平成27年11月に供用を開始しています。

山手側の白土湖側の交差点から新山本町線交差点までの約360m区間について、建物調査を実施し、用地取得及び建物補償行ない工事を実施します。



白土湖交差点から山側



新山本町線交差点から海側



科目	8 款	5 項	3 目	目名称	街路整備事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	測量及び設計 用地取得及び建物補償 本工事 延長L=140m			建物調査 用地取得及び建物補償 本工事 延長L=150m		本工事 延長L=70m

事業名	【継続】				
	親和町湊広場線整備事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,460万0	1,784万0		2,320万0		356万0
事業期間	平成27年度～平成44年度 (複数年度事業)			総事業費	17億2,151万1

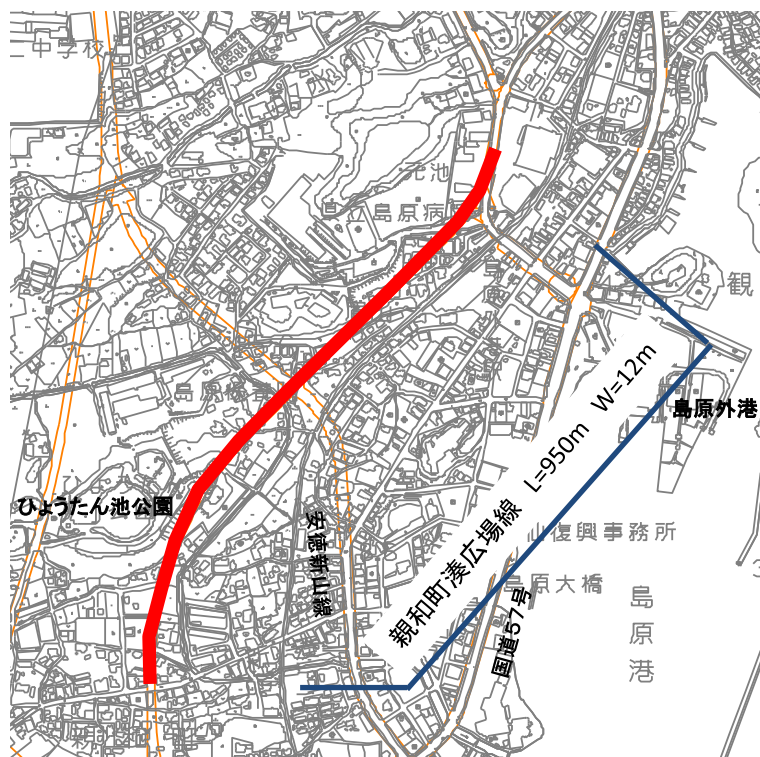
【事業目的】

本路線は、国道57号（親和町）からひょうたん池公園、島原病院付近を經由し、国道251号（白山町）を結ぶ、都市計画道路です。

外港周辺や島原病院から島原中央道路島原外港ICへのアクセス道路としての役割を持ち、市街地中心部の交通混雑の解消を図ります。また、本事業箇所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の利便性の向上と沿線地域の良い市街地形成を図ります。

【事業概要】

平成31年度は、親和町の市道新湊大下線のひょうたん池公園入口から都市計画道路元池大手広場線との交差点までの約950m区間の都市計画決定を行ない事業認可を取得し、土地評価、建物調査、用地取得、建物補償を行います。



ひょうたん池公園入口付近



幅員狭小市道(南下川尻町)

科目	8 款	5 項	3 目	目 名 称	街路整備事業費	都市整備課
事業計画	前 年 度 まで			今 年 度		来 年 度 以 降
	測量及び設計 詳細設計 用地測量 効果分析調査			都市計画決定・事業認可 土地評価・建物調査 用地取得及び建物補償		建物調査 用地取得及び建物補償 本工事 延長L=950m

事業名	【継続】 安徳新山線整備事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
500万0	200万0		300万0		
事業期間	平成27年度～平成37年度 (複数年度事業)			総事業費	7億7,496万5

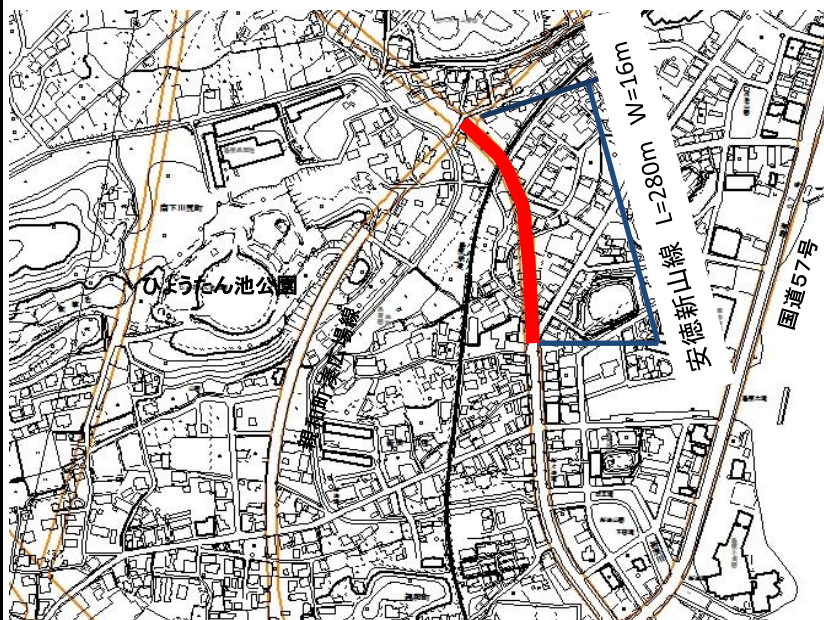
【事業目的】

本路線は、国道251号水無川橋から秩父が浦町の国道57号交差点、緑町を經由し、都市計画道路新山本町線の新山交差点を結ぶ都市計画道路です。

外港周辺や島原病院から国道251号へのアクセス道路としての役割を持ち、市街地中心部の交通混雑の解消を図ります。また、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の利便性の向上と沿線地域の良好な市街地形成を図ります。

【事業概要】

平成31年度は、南下川尻町の市道湊町新湊線から都市計画道路親和町湊広場線との交差点までの約280m区間の都市計画決定を行ない事業認可を取得し、土地評価を行います。



市道湊町新湊線(南下川尻町)付近



現況幅員狭小市道(下川尻町)

科目	8 款	5 項	3 目	目 名 称	街路整備事業費	都市整備課
事業計画	前 年 度 まで			今 年 度		来 年 度 以 降
	測量及び設計 詳細設計 用地測量 効果分析調査			都市計画決定・事業認可 土地評価		建物調査 用地取得及び建物補償 本工事 延長L=280m

事業名	【継続】 街路整備事業費負担金【新山本町線整備事業】				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,644万0			5,640万0		4万0
事業期間	平成26年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	17億5,000万0

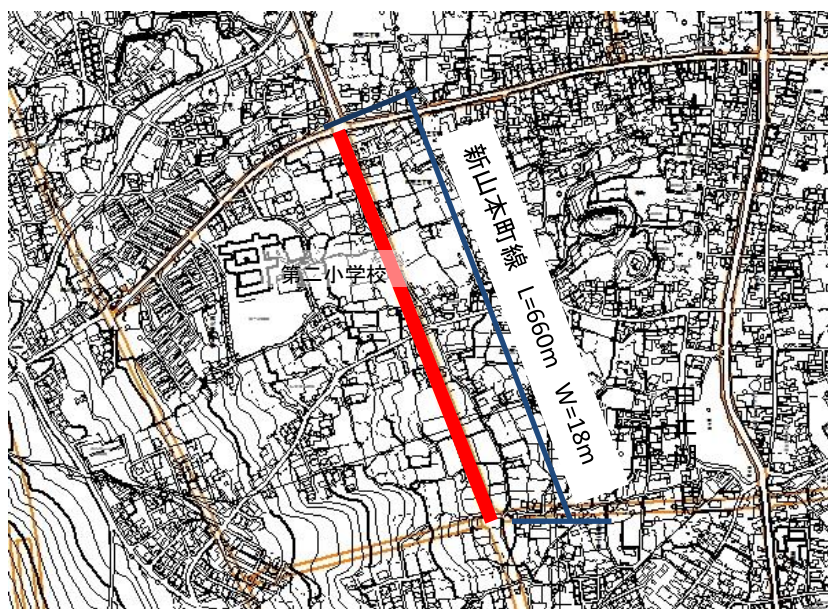
【事業目的】

本路線は、新山一丁目から、上の原一丁目、柿の木町、柏野町を經由し、本町の県道野田島原線を結ぶ都市計画道路です。県営事業として、都市計画道路 霊南山ノ神線との交差点から高島丁椿原線との交差点までの約660m区間の整備に対する負担金です。

本路線の整備により、市街地中心部の幹線道路である国道251号や元池大手広場線の交通混雑の解消を図ります。併せて、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の利便性の向上と沿線地域の良い市街地形成を図ります。

【事業概要】

県営事業（建物補償調査業務、用地取得、建物補償等）の負担金です。



市道 高島丁椿原線(萩原三丁目)



現況幅員狭小市道(上の原三丁目)

科目	8 款	5 項	3 目	目名称	街路整備事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	測量及び設計 建物調査 用地取得及び建物補償			建物調査 用地取得及び建物補償		建物調査 用地取得及び建物補償 本工事 延長L=660m

事業名	【継続】 晴雲団地都市下水路改修事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,500万0					1,500万0
事業期間	平成27年度～平成35年度 (複数年度事業)			総事業費	9,107万0

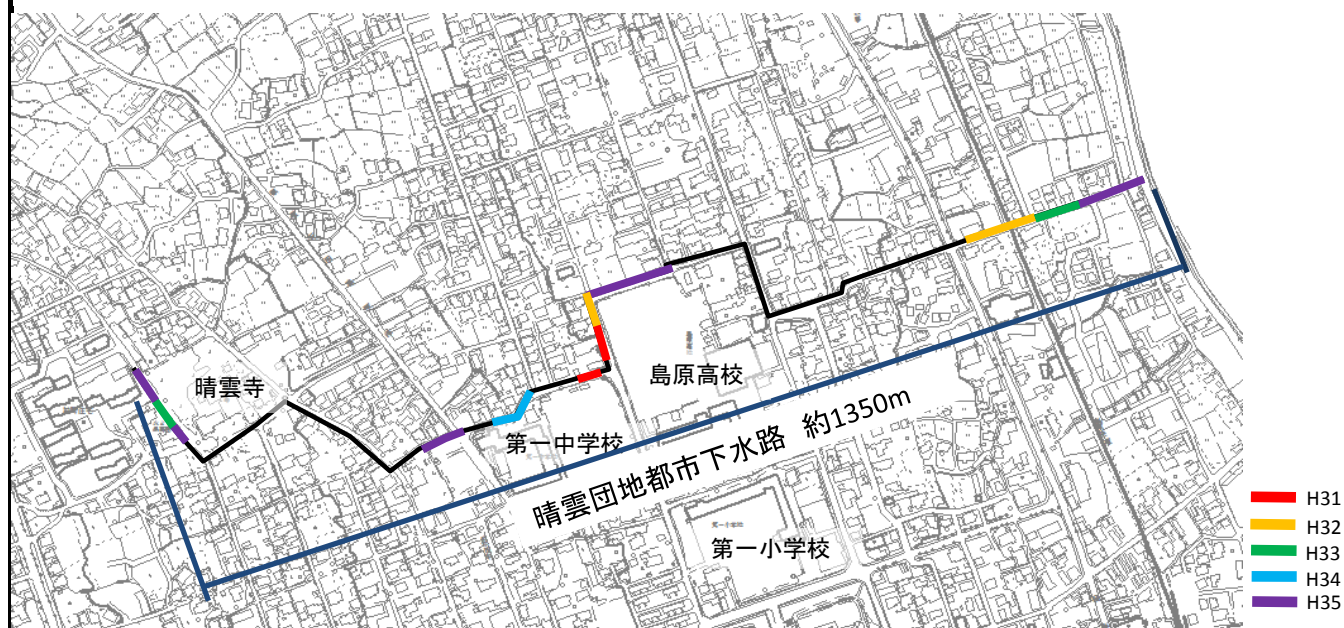
【事業目的】

晴雲団地都市下水路は、昭和36年から施設が建設され、50年以上を経過し、コンクリート構造物の劣化に伴う施設の損傷が見られる箇所があります。

平成27年度実施した老朽化調査の結果から、劣化状況に応じた改修補強工法により、施設の改修工事を行い、施設の長寿命化を図りながら、計画的な維持管理を行ないます。

【事業概要】

田町から南柏野町までの延長約1350mについて、老朽化調査により損傷が確認された556m区間の改修工事を年次計画により実施するものです。



都市下水路内を撮影 コンクリート床板内の鉄筋が腐食し、破損している状況



科目	8 款	5 項	4 目	目名称	都市下水路費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	老朽化調査及び補修補強設計 改修工事L=166m ボックスカルバート改修			改修工事L=57m ボックスカルバート改修		改修工事L=333m ボックスカルバート改修

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書

255P

事業名	【継続】				
	街なみ環境整備事業補助金				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
250万0	100万0				150万0
事業期間	平成12年度～			総事業費	

【事業目的】

島原市街なみ環境整備方針に基づき、市の象徴である湧水と城下町の歴史を活かした街なみ景観を整備保存する為、建築物の所有者等が行う修景等について、地区の特性を踏まえながら街なみ環境を形成していくことを目的とします。

【事業概要】

平成12年度から平成30年度までに、80件の実績があります。
市内8地区の協定地区では、通りとしての修景が形成されている地区や和風の街並み、城下町に相応しい色彩など周囲と調和した建物などが景観づくりに貢献し、街なみ環境が魅力あるものとなってきています。今回申請予定の建築物は、上新町まちづくり地区に存在しており、市民や地区住民だけではなく、広く観光振興にも繋がる事業効果が期待されるものです。

改修予定建築物



上新町まちづくり地区

『くれたけ』

通りに面した壁面の修景工事

科目	8 款	5 項	5 目	目名称	街なみ環境整備事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	建築物の所有者等が行う修景等に対する工事費用の補助			建築物の所有者等が行う修景等に対する工事費用の補助		建築物の所有者等が行う修景等に対する工事費用の補助

事業名		【新規】市営住宅整備事業				
当初予算額		財源内訳 (単位：千円)				
		国費	県費	地方債	その他 一般財源	
1,549万9		72万8			1,477万1	
事業期間		平成31年度～ (複数年度事業)			総事業費	
【事業目的】						
外壁、屋根等が劣化しているため、塗装等の改修工事を実施し、施設の長寿命化を図ります。						
また、稗田・杉山団地は個別施設計画により廃止を予定しており、入居者が移転した空き棟は、防犯、保安上の問題により解体します。						
【事業概要】						
①柏野住宅……………3棟（24戸）の外壁塗装・改修工事設計業務委託						
②大三東団地……………12棟（12戸）の外壁塗装工事						
③稗田・杉山団地…4棟（8戸）の解体工事						
①柏野住宅						
						
②大三東団地						
						
③稗田・杉山団地						
						
科目	8款	6項	1目	目名称	住宅管理費	都市整備課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	津吹団地給湯設備・便所改修工事			・柏野団地外壁改修工事設計業務 ・大三東団地外壁改修工事 ・稗田・杉山団地解体工事		柏野団地外壁等改修工事

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

当初予算書

259P

事業名		【継続】 耐震・安心住まいづくり支援事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
360万4		132万8	43万8			183万8
事業期間		平成22年度～			総事業費	
【事業目的】 昭和56年5月31日以前に建築された木造戸建て住宅等や一般建築物、大規模建築物の所有者に対して、耐震診断や耐震改修計画作成及び耐震改修工事に要する費用の一部を支援することにより、建築物の耐震化を促進するものです。						
【事業概要】 ①木造戸建住宅・併用住宅						
補助内容		補助率		限度額		
耐震診断		2／3		3万8百円		
耐震改修計画作成		2／3		7万円		
耐震改修工事		1／2 (併用住宅1／4)		60万円 (併用住宅30万円)		
②一般建築物（特定既存耐震不適格建築物）						
補助内容		補助率		限度額		
耐震診断		2／3		160万円		
※一般建築物とは 学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、老人ホーム その他多数の者が利用する建築物						

事業名	【継続】 老朽危険空き家除却支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
500万0	250万0				250万0
事業期間	平成28年度～			総事業費	

【事業目的】

空家等対策の推進に関する特別措置法（空き家に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針）が示されたことにより、老朽化し危険な空き家住宅の除却を行う方に、その除却費の一部（最大50万円）の補助を継続して行うものです。

【事業概要】

補助対象 不良住宅の除却等に要する費用
(補助率：補助対象工事費の40%、限度額50万円)

事業効果 老朽危険空き家を除却することで、防災性や防犯性を向上させ、良好な景観を形成します。



着手前



解体後

科目	8 款	6 項	4 目	目名称	空き家等対策事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	老朽化し危険な空き家の除却に要する費用に補助 (22件)			老朽化し危険な空き家の除却に要する費用に補助 (10件)		引き続き実施予定

事業名	【継続】 浄化槽設置整備事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,777万0	2,592万3	2,592万3			2,592万4
事業期間	平成5年度～			総事業費	

【事業目的】

本事業により、し尿及び生活雑排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上を図ります。平成5年度から実施し、国・県・市が1／3（※）の負担割合で補助を行い、平成29年度までに5,526基が設置されています。

【事業概要】

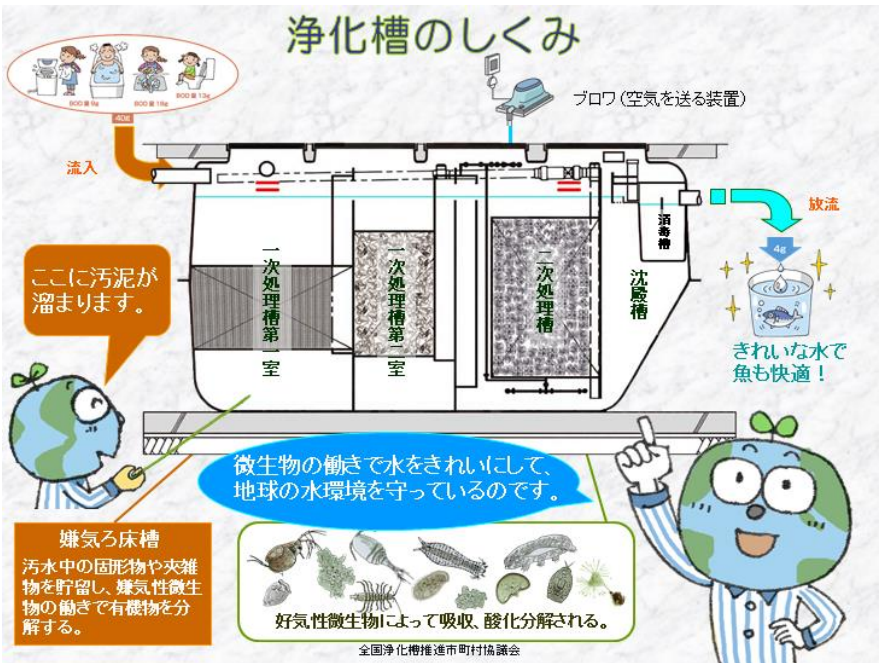
浄化槽を設置しようとする方に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。

《事業主体》 島原市
 《事業期間》 旧島原市 平成5年度～
 旧有明町 平成3年度～

補助金額

人槽区分	補助限度額（千円）
5	33万2千円
6～7	41万4千円
8～50	54万8千円

※浄化槽を設置する場合、単独浄化槽の撤去を要する工事については、9万円又は撤去費用のいずれか少ない金額を加算して補助金を支給します。



科目	8 款	7 項	1 目	目 名 称	下水道費	道路課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	上記事業概要と同じ (5,726基を設置見込)			上記事業概要と同じ (200基を設置)		引き続き実施予定 (毎年度200基を設置)